
短歌ごっこ'10.卯月

逸見

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

短歌ごっこ'10. 卯月

【Nコード】

N2811M

【作者名】

逸見

【あらすじ】

日常を詠んでいます

短歌の形式だけど、「短歌」と言い切ってしまうのはなんかおこがしい

そんな訳で「短歌ごっこ」です

とりあえず
そう思いつつ
一杯を
何度も重ねる
コーヒータイム

春色の
中を歩く
散歩道
塗りつぶしたような
青空のもと

心技体
どれを望むと
いう問いに
折れぬ心を
選ぶ我なり

カーテンを
全開にして
月明かり
楽しみ眠る
満月の夜に

絡まった
糸の結び目
ほどいたり
結んだりする
日々の暮らしよ

顔も見ず
扉の音に
反応し
「いらっしゃいませ」
重なる店内

何千も
短文行き交う
誰に言う
あて無く漏らす
つぶやきの場所

誇らし気
笑顔の子らの
歩く道
背中の勲章
カラフルに咲く

冬物を

しまい始める
タイミング
見極め難く
ついフライング

来年の
また巡り来る
春の日に
変わらぬ桜
変わって見たい

身一つで
生まれきたのに
数えきれぬ
物に囲まれ
暮らす日々かな

泣かずとも
心が泣いて
しまう時
たまにあるよ
大人にだって

大切に
手に持つ風船
離れ行き

何度も飛び跳ね
空を掴む手

ガラスほど

脆い物は

大切に

回りを固めて

必死に守る

ピンと張り

ただひたすらに

張り続け

欠け落ちていく

やわらかい場所

ヒューヒューと

ザワザワ混じる

風の音

窓打つ雨音

眠れぬ夜に

あの歌を

また聴きたくて

聴けなくて

成長のない

私です

春雨と

呼ぶには少し

肌寒く

氷雨にも似た

四月の雨よ

見たくない

物を見ない

方法は

目を閉じること

分かってるのに

所在なげ

待つ人見つめる

その先は

愛ゆえ戦う

クレヨンしんちゃん

待ち疲れ

それでもやはり

待ち続け

ホントは知ってる

待ちぼうけだと

空を背に

五本並んだ

電線は

青い五線譜

日々は音楽

枯れていく

花や散る花

それぞれに

ある美しさ

潔さ

何となく

分かるがよくは

分からない

“バイパーメディア
クリエーター”

指先と

後ろ姿を

覚えている

笑顔もたくさん

見たはずなのに

無常だと

世の常肌で

感じつつ

それでも欲しい
常なる何か

まんまるに

一步手前の

丸い月

まぶしいばかりの
光を放つ

キーひとつ

見つめながら

今日も過ぐ

押すか押さぬか
逡巡しつつ

桃色の

時代は遙か

遠くなり

今はどんな

色なのだろう

それなりに

納得できる

アイライン

引けた朝には

密かに満足

変わらない
変わりたくない
変わらない
微妙に違う
結果は同じ

夜9時の
ニュースで気づく
その程度

「連休初日」
いつもの1日

誰が見て
褒めること無い
あれこれを
せめて自分が
褒めてみようか

お気に入り
ペンダント一つ
胸元に
あるそれだけで
気分上々

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2811m/>

短歌ごっこ'10.卯月

2011年10月7日13時43分発行